

森城址再生事業

取組に至る背景・事業の目的

- 平安時代から戦国時代まで当地域を治めていた豪族、仁科氏によって建てられた森城址は、当地域の貴重な歴史遺産であるばかりでなく、木崎湖の眺めの良い景勝地でもあり、かつては多くの人が訪れていた。木崎湖温泉観光協会と地元住民が協働で、森城址及びその周辺の環境整備を図り、森城址をうるおいと魅力ある景勝地として再生させ、市民や観光客がたくさん訪れるようにする。また地域住民が歴史と文化を見直し、郷土愛を深める。

事業内容

- 平成 22 年度から平成 23 年度にかけて、地域住民のボランティア活動により、遊歩道の整備を行うとともに、ベンチや案内板の設置など、環境整備を図った。
- 平成 24 年度は、集客に向けた取組を行った。
 - (1) 「森城址まつり」
 - ①歴史講座②民話のかたり③アトラクション(のろし上げ、野立、和太鼓、雅楽演奏、子どもクイズラリー)を実施
 - (2) 森城址周遊マップの作成



事業効果

- 「森城址まつり」の開催を通じて、地域住民や来訪者の方々が、森城址の重要性を再認識する機会となった。地元住民の協力により、学習、参加型のイベントを核に子どもからお年寄りまで楽しんでいただいた。特に歴史講座は人気が高く、森城址の歴史遺産と湖畔の景観を活かした魅力づくりに期待が持てた。

【延べ参加者 450 人】

- 周遊マップ「森城概念図と散策地図」作成
石碑や観光スポットを掲載し、より魅力あるウォーキングコースとして紹介。市内観光施設等に配置し、木崎湖を軸にした多様な魅力をアピールした。



【森城址まつり 歴史講座】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 地域住民との協働による取組により、地域の歴史と文化を学び、地域への愛着や誇りを改めて感じてもらう機会となった。今後も来訪者に満足感を与えることができるよう、引き続き取り組んでいきたい。
- 森城址保存会を立ち上げ、イベントの開催など、特色ある観光地を目指し全国へ発信していきたい。

【選定のポイント】
森城址の周遊マップの作成及びイベントの開催により、木崎湖を軸とした多様な魅力のアピールができた。今後も今まで整備した環境を保全しつつ、多くの観光客等の来訪につながる取組が期待できる。

団体名 木崎湖温泉観光協会（大町市） 連絡先 0261-23-7100（事務局 遠藤鷹一） メールアドレス endo@yupuru.co.jp	事業タイプ ソフト事業 事業費 487,008円 支援金額 487,000円
---	--